



装置の存在を感じない素晴らしさを実感しています

## 施設紹介：野口病院(群馬県高崎市)

大正15年に創設された、消化器科・肛門科・外科・整形外科を主体とする急性期病院。地域との共存を図りながら、4年後には創立100周年を迎える。

令和4年6月に陰圧室自動管理システム搭載の「AIRCLEAN AUTO」を全国で初めて導入。



看護師長 鈴木 貴志 様

まず、弊社(ACアシスト)の印象をお聞かせ下さい。

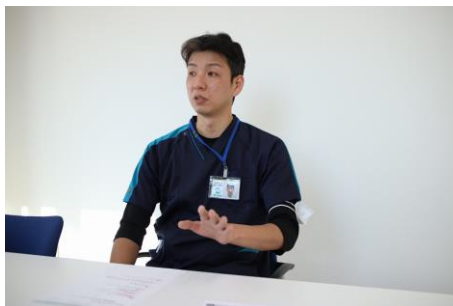
お会いしたこともなかったですし、業界に詳しいわけでもなかったのですが、謎の会社という印象でした(笑)

ただ、やり取りをしている中で「信頼できるな」と思いました。

他社の床置型とAIRCLEAN AUTOで複数の陰圧室を管理されていますが、比較して何が違うのでしょうか？

圧倒的に音が違います。床置型は低い「ポーッ」という音がします。

加えて、陰圧2.5Paを維持しようと風量を上げると更に音は大きくなるので、床置型の陰圧室は患者様の居心地は良くないと感じています。



AIRCLEAN AUTOを導入して良かった点を教えてください。

病室に排気ダクトが繋がった床置型の陰圧装置が設置されていると、自分が特別扱いされていると感じる患者様もいると思います。

一方、AIRCLEAN AUTOは、天井裏に設置されている為、患者様が陰圧装置を意識する事はありません。

装置の存在を感じない事が導入して良かった点だと思います。

また、スタッフに感染病室内で従事もらう上で、納得して入ってもらう事は大変重要です。

部屋の外から操作ができ、安全性の高い陰圧室を運用できた事は本当に良かったと思っています。



ベッド上部の吸気口



室外に設置されている操作パネル

\* 常時室内の陰圧を確認する事ができる

ACアシスト 陰圧装置 検索